



平成 21 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 富士急行株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 堀内 光一郎
コ ー ド 番 号 9010
問 合 せ 先 取締役 IR 推進室長兼経営管理部長
和田 一成
T E L (0555)22-7120

業績予想の修正のお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日の平成 21 年 3 月期決算発表時に公表した平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日）及び通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正します。

1.平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1)連結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成21年5月13日発表)	24,860	2,340	1,710	800	7.53 円
今回発表予想 (B)	24,020	2,710	2,090	1,170	11.02 円
増減額 (B - A)	△840	370	380	370	—
増減率	△3.4	15.8	22.2	46.3	—
前年同期実績	24,500	2,042	1,460	693	6.52 円

(2)個別

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成21年5月13日発表)	13,210	1,520	1,030	630	5.88 円
今回発表予想 (B)	13,260	2,100	1,720	1,050	9.80 円
増減額 (B - A)	50	580	690	420	—
増減率	0.4	38.2	67.0	66.7	—
前年同期実績	12,888	1,401	878	360	3.36 円

2.平成 22 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1)連結

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年 5 月13日発表)	46,530	2,870	1,560	630	5.93 円
今回発表予想 (B)	44,900	2,870	1,560	630	5.93 円
増減額 (B－A)	△1,630	0	0	0	－
増減率	△3.5	0.0	0.0	0.0	－
前期実績	45,648	2,502	1,201	466	4.39 円

(2)個別

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成21年 5 月13日発表)	24,250	2,000	930	540	5.04 円
今回発表予想 (B)	23,970	2,000	930	540	5.04 円
増減額 (B－A)	△280	0	0	0	－
増減率	△1.2	0.0	0.0	0.0	－
前期実績	23,793	1,642	572	187	1.74 円

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結

第1四半期の天候不順や新型インフルエンザの流行等による売上高の減少がありましたが、新たな客層を開拓し2期目を迎えた富士本栖湖リゾートでの「富士芝桜まつり」や富士急ハイランドで7月にオープンした日本初の天空の回転ブランコ「鉄骨番長」がCM等でも高い話題性を獲得し好評を博しました。

また、同じく7月にオープンした相模湖プレジャーフォレストの考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」が好調なスタートをし、天候に恵まれたシルバーウィーク等の効果も加わり、特にレジャー・サービス業における集客増及び収益性の改善が図られ上記修正に至ったものであります。

通期の業績予想につきましては、予想外の、新型インフルエンザの再流行懸念や景気の先行き等の不透明な要素も勘案し、売上高を修正いたしました。なお、損益につきましては、一層の経費圧縮等に努め当初予想を据え置きます。

(2) 個別

連結と同様の理由により修正いたします。

<業績予想に関する注意事項>

当資料に掲載されている業績見通し及び将来の予想に関する記述は、当社及び当社グループにおいて、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要因によりこれら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。